

大学入学共通テスト英語におけるイギリス英語の使用について

現行の大学入試センター試験の英語表記はアメリカ英語を使用。

※試行調査（プレテスト）においてもアメリカ英語を使用

⇒ 共通テストでは現在国際的に広く使用されているアメリカ英語に加えて、場面設定によってイギリス英語を使用することもある。

（補足説明）

- 高等学校学習指導要領に示された、国際的に広く日常的なコミュニケーションの手段として通用している「現代の標準的な英語」には語彙、綴り、発音、文法などに多様性があることに気付かせる指導を踏まえ、出題の場面や内容にふさわしい英語表記とするため、現在国際的に広く使用されているアメリカ英語に加えて、場面設定に応じてイギリス英語を使用することがある。

◇ リスニングの読み上げ音声については、問題作成方針に示すとおり、多様な話者による現代の標準的な英語を使用する。

※試行調査（プレテスト）においてもアメリカ英語、イギリス英語及び日本語母語話者による英語の音声で出題

<参考 高等学校学習指導要領（平成21年3月告示）及び解説>

第8節外国語 第3款英語に関する各科目に共通する内容等

3 ア 現代の標準的な英語によること。ただし、様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること。

（解説 外国語編・英語編）

「第3章 英語に関する各科目に共通する内容等」

3 言語材料に関する全科目に共通する配慮事項

「現代の標準的な英語」とは、現在国際的に広く日常的なコミュニケーションの手段として通用している英語を意味しており、特定の地域や集団においてしか通用していない方言などに偏らない英語のことである。一方、「様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮する」とは、現代の英語は、世界で広くコミュニケーションの手段として使われている実態があり、語彙、綴り、発音、文法などに多様性があるということに気付かせる指導を行うということである。